

背徳のメス（1961）

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 日本
色彩 B&W
時間 88分
初公開日 1961/08/06
公開情報 松竹

【解説】

直木賞を受賞した黒岩重吾の同名小説を、新藤兼人が脚色し野村芳太郎が監督した医療サスペンス。芥川也寸志が音楽を担当した。

宗教団体が運営する大阪の阿倍野病院で働く産婦人科医の植は、薬剤師や看護婦など複数の女と関係を持っていた。植とは犬猿の仲だった産婦人科長の西沢が、売春婦の堕胎手術で患者を死なせてしまう。患者の情夫である安井は二百万円を要求。西沢は逆に警察に訴えると、手術に立ち会った植を買収し証言させようとするが、植はこれを拒否する。病院の創立記念日の帰り、酔った植が宿直室で寝ていると、何者かによってガス栓が開かれた。看護婦の景子に助けられた植は、自分を殺そうとする犯人探しを決意する。

【クレジット】

監督 野村芳太郎
製作 岸本吟一
原作 黒岩重吾
脚本 新藤兼人
撮影 川又昂
美術 大角純一
編集 相良久
音楽 芥川也寸志
出演 久我美子
高千穂ひづる
田村高広
山村聡 So Yamamura
瞳麗子
松井康子
葵京子
加藤嘉
城所英夫
倉田爽平